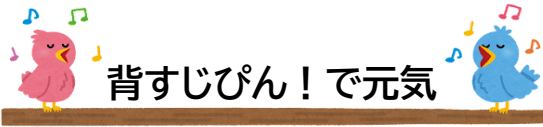


ほけんだより

令和4年2月 虹のこころ保育園



寒い日が続いていますが、子どもたちの元気な声が室内を暖かくしてくれます。コロナウイルス第6波が来ていますので、これまで以上に感染拡大防止に努めていきたいと思ひます。ご理解ご協力よろしくお願ひ致します。



背すじぴん！で元気

寒くなるとつい背中を丸めてしまひますね。でもそれでは、心臓や胃、腸などが活発に働いてくれません。また、乳幼児期は背骨や背骨を支える筋肉が発達する大切な時期です。筋肉や骨の発育が十分でないとな怪我につながります。正しい姿勢は消化吸収力がアップし成長につながり、良い噛み合わせが保たれる、ボディーバランスも保たれるなどといわれています。

強い骨と筋肉を作るためにも、よい姿勢で過ごすことを心がけましよう。背すじピン！は気持ちがいいばかりでなく、健康にもよい影響を与えます。

2月のほけん行事

身体測定 9日 ひまわり組 10日 ゆり・ちゅうりっぷ組
16日 すみれ組 17日 あじさい・よつば組
髪の毛の長いお子さんは、身長を測る時に結び目が身長計に当たらない位置で結んでください。

頭髪検査 7.21日



えっそんなもので？

節分の季節は子どもが豆で窒息するニュースを度々目にすると思ひます。「こんな小さいもので？」「こんな形で？」と思うようなおもちゃや食べものが窒息の原因になります。



子どもが誤飲や窒息の危険性があるものは、およそ直径39mm、高さ51mmの円筒形に完全に入ってしまう大きさ。(図1)

特に、6~20mmの大きさのおもちゃは、子どもが口に入れると、のどに詰まらせやすく窒息のおそれがあります。

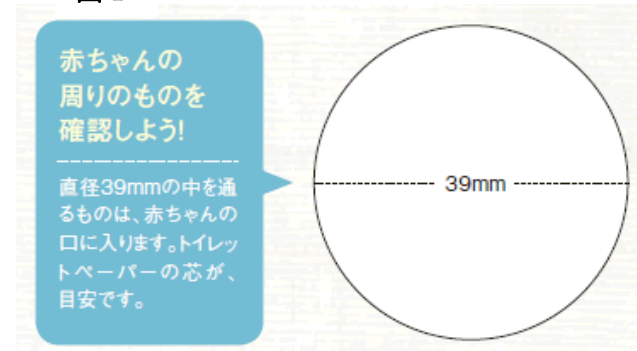
おもちゃや小さな部品など、子どもが口に入れて危険なものは、床に置いたままにせず、子どもの手が届かない場所に片付けましよう。

子どもの手が届く範囲は、手の届く範囲と台の高さを足した長さで図2の通りです。これを目安にして、より遠い(より高い)場所に置いて、子どもが触れないようにましよう。

子どもの窒息事故が起こらないように注意するとともに、万一、事故が起こったときの応急処置を身につけておきましよう。

(応急処置については令和3年9月のほけんだよりをご覧ください)

図1



6 mm



20 mm

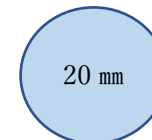
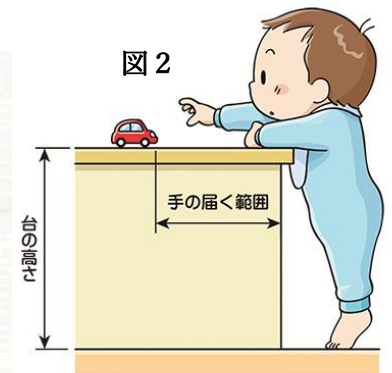


図2



子供の手の届く範囲は「台の高さ+手の届く範囲」

1歳児：約90cm
2歳児：約110cm
3歳児：約120cm